

## 令和4年度「新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査」概要

|       |   |   |
|-------|---|---|
| 調査名   | ①一般高齢者調査<br>+介護予防・日常生活圏域ニーズ調査   | ②要支援・要介護認定者調査   |
| 対 象   | 要介護1～5以外の65歳以上の高齢者  | 要支援・要介護認定を受けている65歳以上の高齢者<br>(施設サービス利用者を除く)  |
| 規 模   | 無作為抽出 4,000人  | 無作為抽出 1,500人  |
| 抽出条件  | 介護保険の要介護1～5の認定を受けていない<br>65歳以上の方  | ①年齢が65歳以上の方<br>②介護保険の要支援・要介護認定を受けている<br>方(施設サービス利用者を除く)   |
| 調査方法  | 郵送配布・回収(WEB回答併用)<br>※督促礼状1回送付   |   |
| 調査時期  | 令和4年10月中旬～11月上旬   |   |
| 調査目的等 | 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況、意向等を把握することで、今後の高齢者保健福祉事業の参考とする。<br>また、国が示す質問項目を用いた調査を行い、結果を国のデータベースに入力することにより、地域診断に活用し、介護予防・日常生活支援事業の評価に活用する。  | 介護サービスの利用状況と利用意向、サービスの満足度を把握し、サービスの質の向上の参考にするとともに、在宅で暮らし続けるために必要なこと等を把握する。  |
| 調査項目  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本属性 (ご本人のこと)</li> <li>・家族や生活状況</li> <li>・からだを動かすこと</li> <li>・食 べ る 事 物</li> <li>・毎日の生活</li> <li>・地域での活動</li> <li>・たすけあい</li> <li>・健康状態</li> <li>・介護予防</li> <li>・かかりつけ医療機関</li> <li>・在宅療養</li> <li>・ACP(人生会議)</li> <li>・緩和ケア</li> <li>・認知症</li> <li>・権利擁護</li> <li>・情報や相談窓口</li> <li>・介護保険制度</li> <li>・通信機器の利用状況</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本属性 (ご本人のこと)</li> <li>・家族や生活状況</li> <li>・食 べ る 事 物</li> <li>・たすけあい</li> <li>・健康状態</li> <li>・かかりつけ医療機関</li> <li>・在宅療養</li> <li>・ACP(人生会議)</li> <li>・緩和ケア</li> <li>・権利擁護</li> <li>・情報や相談窓口</li> <li>・介護保険サービスの利用意向</li> <li>・通信機器の利用状況</li> <li>・介護者の状況</li> <li>・認知症</li> </ul> |
| 設問詳細  | 資料3-1   | 資料3-2   |

|       |   |   |
|-------|---|---|
| 調査名   | ③第2号被保険者調査  | ④ケアマネジャー調査  |
| 対 象   | 要支援・要介護認定を受けていない第2号被保険者<br>(40歳～64歳)  | 区内の居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャー  |
| 規 模   | 無作為抽出 1,500人  | 悉皆 約230人  |
| 抽出条件  | ①年齢が40歳以上で65歳未満の方<br>②介護保険の要支援・要介護認定を受けていない方  | 区内の居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャー  |
| 調査方法  | 郵送配布・回収(WEB回答併用)<br>※督促礼状1回送付   |   |
| 調査時期  | 令和4年10月中旬～11月上旬   |   |
| 調査目的等 | 地域社会の担い手という観点から、いきがいづくりや社会参加などの意識を把握するとともに、高齢者予備群としての観点から、各種制度等に対する普及・啓発を図る。また、介護保険制度に対する知識等を把握し、今後の介護保険事業の在り方の参考とする。   | ケアマネジャー業務の実態を把握するとともに、介護保険制度運営の参考とする。また、認知症対策、在宅療養(看取り)、医療と介護の連携についての実態を把握することにより、今後の高齢者保健福祉施策運営の参考とする。   |
| 調査項目  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本属性 (ご本人のこと)</li> <li>・家族や生活状況</li> <li>・地域での活動</li> <li>・たすけあい</li> <li>・健康状態や健康づくり</li> <li>・若年性認知症</li> <li>・在宅療養</li> <li>・ACP(人生会議)</li> <li>・緩和ケア</li> <li>・権利擁護</li> <li>・情報や相談窓口</li> <li>・介護保険制度</li> <li>・通信機器の利用状況</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャー及び事業所概要</li> <li>・ケアマネジメントの状況</li> <li>・高齢者総合相談センターの支援</li> <li>・各種連携の状況</li> <li>・在宅療養への対応</li> <li>・ケアプランへの組み込み</li> <li>・在宅高齢者に必要な支援</li> <li>・認知症</li> <li>・ACP(人生会議)</li> <li>・ケアマネジャーの仕事</li> <li>・スキルアップ</li> <li>・今後の意向</li> <li>・新宿区への要望</li> </ul> |
| 設問詳細  | 資料3-3   | 資料3-4   |

|       |  |  |
|-------|--|--|
| 調査名   | ⑤介護保険サービス事業所調査   | ⑥在宅介護実態調査  |
| 対 象   | 区内の介護保険サービス事業所   | 在宅で生活している介護認定を受けている方(もしくはその介護者)  |
| 規 模   | 悉皆 約220事業所   | 無作為抽出 600人   |
| 抽出条件  | 区内の介護保険サービス事業所   | ケアマネジャーによる定期訪問を受ける要介護・要支援認定者   |
| 調査方法  | 郵送配布・回収(WEB回答併用)<br>※督促礼状1回送付  | 聞き取り調査   |
| 調査時期  | 令和4年10月中旬～11月上旬  | 令和4年4月～12月   |
| 調査目的等 | 介護保険サービスを提供する事業所の実態を把握し、介護保険制度運営の参考とする。  | 「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するための基礎資料を得る。   |
| 調査項目  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の概要</li> <li>・収支状況・処遇改善の状況</li> <li>・事業所で取り扱っているサービス</li> <li>・今後の参入意向</li> <li>・総合事業</li> <li>・人材の確保、定着、育成</li> <li>・高齢者総合相談センターの支援</li> <li>・各種連携の状況</li> <li>・介護保険制度によらないサービス</li> <li>・地域貢献活動</li> <li>・在宅医療への対応</li> <li>・ACP(人生会議)</li> <li>・尊厳の保持</li> <li>・身体拘束等の廃止の取組み</li> <li>・ICTの導入状況</li> <li>・BCP(業務継続計画)</li> <li>・新宿区への要望</li> </ul> | <p>【要介護者向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世帯類型</li> <li>・親族からの介護の頻度</li> <li>・主な介護者</li> <li>・親族等で介護離職された方</li> <li>・在宅生活継続に必要なと思うサービス</li> <li>・施設等入所検討状況</li> </ul> <p>【介護者向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の勤務形態</li> <li>・介護のための働き方の調整</li> <li>・仕事と介護の両立</li> <li>・不安に感じる介護</li> </ul> |
| 設問詳細  | 資料3-5  | 資料3-6  |